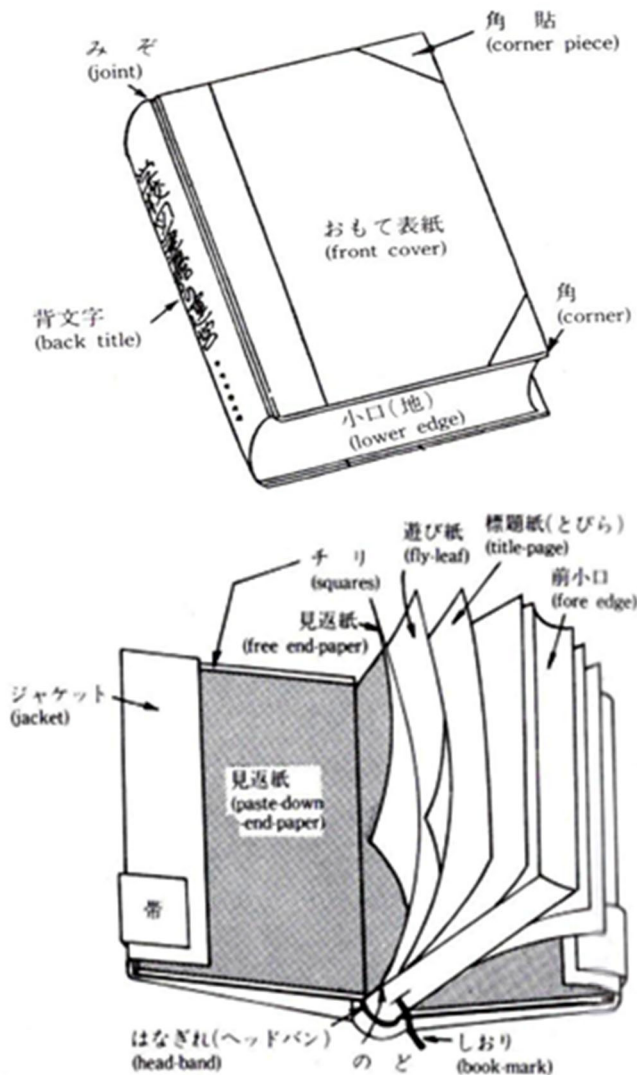


No.6 本の各部と奥付

本資料の(1)の図・説明は、(2)に示した図書から引用したものである。

(1)本の各部の名称と役割



- ①おもて表紙 = 本の中身を保護するとともに、「顔」である。書名・編著者名・発行所名・シリーズ名などが記される。
- ②みぞ = 表紙と背とのつなぎの部分で、背に平行してつけられている。本の開閉を滑らかにする役割をしている。
- ③小口(こぐち) = 表紙と背をのぞいた三方の切り口の部分で、通常は化粧裁ちをしてあり、上のほうを天、下のほうを地、背と反対のほうを前小口という。
- ④背 = 本のとじ目の部分の外側である。書名・編著者名・発行所名・シリーズ名・巻数などが示される。ラベルは、背の下のところにはる。
- ⑤見返し紙 = 表紙の裏側で、表紙にはりつけられた部分と、その向かい側のはりつけられていない部分の両方をいう。表紙と中身の本文とを結合しながら、中身を保護している。
- ⑥チリ = 本の中身から表紙が少しはみ出した部分で、ここも中身を保護している。
- ⑦遊び紙 = 見返しととびらの中間にある白紙で、これも中身を保護している。
- ⑧標題紙(とびら) = 本の正式の「顔」であり、書名・編著者名・発行所名・シリーズ名・巻数などが記される。
- ⑨しおり(葉) = 本を読みやすくするため、心覚えのひも。
- ⑩のど = 背とじに近い部分で、背固めや本の開きぐせをつけるために、たいせつな役割をしている。
- ⑪はなぎれ = 縁とりをした平紐(ひも)の形を、本の中身の厚さに合わせて、背の両端に取りつけたもの。背の両端の割れるのを防ぐとともに、アクセサリーの役割をしている。
- ⑫ジャケット = ブックカバーともいう。おもて表紙を保護するとともに、本の魅力をアピールする役割をする。
- ⑬帯 = ジャケットの外側にとりつけたもので、推薦・宣伝の文句を記載して、読者の目を引きつける役割をする。

(2)奥付をみて書誌データをとる場合

学校図書館ABC 運営から指導まで 改訂3版		定価 本体2,000円(税別)
1998年8月1日	初版発行	
1992年7月15日	改訂版発行	
1997年7月25日	改訂2版発行	
1999年7月30日	改訂2版2刷発行	
2004年2月10日	改訂3版発行	
	編者	学校図書館研修資料 編集委員会
	発行者	石井宗雄
	印刷所	隣報社写真印刷株式会社
	発行所	全国学校図書館協議会
		〒112-0003 東京都文京区春日2-2-7 電話03-3814-4317 FAX03-3814-1790
分類 017		
ISBN4-7933-0064-2 C3000 ¥2000E		

書名、副書名、版次を書く。刷次は書かない。

最新の版の初刷の発行年を書く

著者、編集者等を書く

出版者名を書く

日本図書コード：ISBN(現在は13桁)、C分類、価格(現在は非表示)
(ISBN、価格は必要に応じてデータとして取る。C分類は出版者がつける商品分類でNDCとは異なる。)

出版したものを修正・加筆・変更する場合は版を作り直すので「版」が変わる。同じ版で印刷を重ねる場合は「刷」が増えていく。